

和光市政を耕す ^{たがや} 市政に新たな種をまき、
芽を育てよりよい街にしよう! VOL. **7**

たけちゃん通信



平成24年度 3月定例会 議会報告



未曾有の被害をもたらした東日本大震災から早くも一年がたちました。被災地では、なかなか思うような復興・復旧が進まないようです。被災された皆様ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興・復旧を心よりお祈り申し上げます。また、東日本大震災は減災そして「絆」を再確認するきっかけになりました。3.11の教訓により、災害時における自助・共助はもちろんのことですが、防災となり組・安否確認が大切で、特に近助の精神が大切だと言われています。近助の精神とは隣近所が助け合う心で、災害時の初期の段階で重要だと言われています。かなりの確率で発生すると言われている大地震に備えて、地域の絆を大切にしましょう。

平成24年和光市議会3月定例会が、2月26日（日）から会期25日間の日程で開会し3月21日に閉会致しました。議案第1号から議案第27号、追加議案第28号、29号、陳情第1号、副議長提案意見書1件が上程されました。審議内容及び審議結果については、和光市議会ホームページでご確認ください。私は今回全ての議案に対して賛成致しました。



施政方針

平成24年度 施政方針が3月定例会第1日目に行われました。施政方針とは、平成24年度1年間の市長の施政運営に対する重要施策や予算編成の基本方針を説明したものです。是非、和光市ホームページ（→行政情報→方針→施政方針）の準にクリックしてご覧ください。

副市長選任

3月定例会第2日、「副市長の選任について」の議案が上程され、大野健司氏が副市長に選任されました。大野健司氏は昭和24年5月5日生まれ62歳、埼玉県庁職員OBで、県とのパイプ役が期待されます。また副市長の給料について、市長と同様に規定額の25%減額する条例も可決されました。（副市長の給料53万3250円）
※2006年3月まで助役がいましたが、それ以降は空席でした。

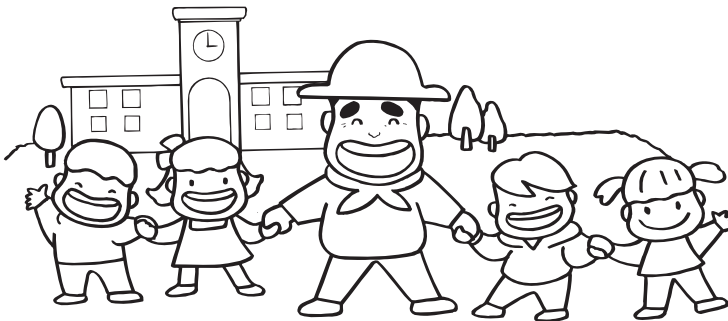
吉田たけしが市政に対する一般質問をした内容（抜粋）

教育行政について

小学校建設の進捗状況について

私も、学校建設の要望に携わった者として、これまでの、議会に於いてもその都度、進捗状況を質問して来ました。2月1日に学校建設予定地の地権者説明会を、坂下公民館で行ったと聞きました。私は今更と思い、やっと本腰を入れて動いて頂いたかと思いました。

交渉のネックとなる代替地についてですが、当初のお話では、代替地は近隣地で耕作地との条件でした。私は、市街地でもと考へ、現在、市で保有している土地で、恒久的な建物が無く、また、事業目的が明確な土地以外で、概ね30坪以上の土地はどの位あるのかをお伺い致しました。4ヶ所あるとの答弁を頂きました。市長は、常々**小学校建設は最優先**に進めると言っておられ、施政方針の中にも、特に、土地区画整理事業、**小学校建設事業**、健康づくり及び介護予防事業など市民の皆様の暮らしをより豊かにする**未来投資**については**一步前に出た投資**を行うとありました。市長も自らこの前の説明会で、地権者の方々に協力を仰いでいるのでしたら、少しでも前へ進む工夫が必要だと思います。代替地として、市が保有する4か所の土地を権利者の方々に示し、検討して頂くことも必要だと思います。また、**財源が厳しい状況であればなお更のこと、手持ちの土地を活用し、事業の進展を図ってはと考へます。**



防災行政について

和光市地域防災計画の見直しについて

和光市地域防災計画において地震災害対策を考へる際の想定被害は、平成21年度和光市地震被害想定調査の結果を用いています。平成21年度和光市地震被害想定調査では、東京湾北部地震（マグニチュード7.3）、立川断層帯による地震（マグニチュード7.4）及び和光市直下の地震（マグニチュード6.9）を想定地震として、その概要は、東京湾北部地震で、**冬の18時・風速15m**です、その中に、**避難者15,152名**は、自宅が壊れて避難する方、**帰宅困難者の8,572名**については、和光市の自宅に帰って来ることが出来ない方や和光市から自宅に帰れない方だと思います。1月末に東京丸の内のオフィス街の地下通路で、災害時の帰宅困難者を受け入れるための実験が、夜から朝にかけて行われています。また、2月3日には新宿駅周辺防災対策協議会訓練が行われ、エリアワンセグなどの多様な情報ツールの避難誘導訓練も行ったようです。丸の内の実験では、食糧や横になって休む際、マットをひく間隔を広くすることで、気持ちどのように変わるか、またテントで寝る実験を行ったようです。また新宿の訓練は、一斉帰宅の抑制や情報収集伝達訓練、**自助・共助・公助の役割分担の確認**を行ったようです。和光市においてもこの様な状況での**訓練・体験実験**をやるべきだと思います。質問に対して、質問のような訓練としては、今後、訓練計画を検討していく中で、**体験・実験**できるような**訓練についても研究**してまいりたいと考えています。との答弁がありました。独自に**訓練・体験実験**がすぐに出来ないのであれば、他の自治体・団体などが行っている、**訓練・実験結果の情報収集**を行い、参考にして頂き、良いと思われることは取り入れて頂ければと思います。
※埼玉県南西部消防組合（常時消防）では、昨年体験実験を行ったようです。



環境行政について

残土積み上げ規制について

坂下土地改良区内の残土積み上げについて、条例では、残土積み上げは、2メートルを超えてはいけない事になっています。残土置場周りの鉄板外壁は4メートルから5メートルあるように思います。あの鉄板外壁を2メートルにするように指導してはと考える。行政として鉄板外壁は、条例の施工前から、条例の規定外の指導事項で強制が出来ないとの答弁がありました。残土積み上げ2メートルを守っているのであればわかります。明らかに鉄板外壁を利用して残土積み上げをしていると思います。鉄板外壁を2メートルにする事で残土積み上げ量が減ると考えます。



まちづくりについて

公園整備について

市にも要望が出ていますが、西本村さくら公園周辺には、幼児・低学年が多く、幼児・低学年用の遊具がありません。ロープネットクライミングは、幼児・低学年には少し危険だとの声もあります。是非、**幼児・低学年向けの遊具を追加設置**して下さい。また、施政方針の中で、平成24年度を生涯元気都市わこうを実現するための「健康づくり元年」と位置付け、新たな取組として、市民一人ひとりが健康状態を自覚して生活の質の向上を目指して健康の保持及び増進を図ることが出来るように・・・とありますことから、**お年寄りの健康遊具を設置**することで、「健康づくり」ができ、お年寄りや子どもを連れのお母さん同士、誰もが交流し、信頼関係を築ける、地域住民のふれあいの場となります。安心して交流出来る施設として、時計・トイレも必要と考えますので、設置をお願い致しました。



地域ブランドについて

第4次和光市総合振興計画の中にもあり、今回予算計上されました。**地域ブランド創出**については、和光市産業振興計画で、平成23年度から平成30年度の8年間で計画期間となっています。昨年和光市地域力連携推進委員会の農商工連携事業「**あぐりエンターテイメント事業企画**」が、和光市農業振興施策への提言として要望されました。あぐりエンターテイメント事業では、地域ブランド創出にいろいろな観点・視点からの発想、ビジョンがあります。地域ブランド創出のため、行政としてこの事業に力を入れてはと考える。**地域ブランド創出**、認定を行ったあと、どのように、どこでアピール推進していくのか分かりません。そこで「道の駅」の役割が大切だと考えます。



道の駅について

今、**地域発展、地域の活性化、地域産業の発展、情報発信に、「道の駅」の役割が大変重要**だと考えられています。和光北インター地域土地区画整理事業の事業変更が可能ならば、この地域に「道の駅」を誘致し、和光ブランドとして認定された商品を、市内外へ発信する拠点にすることで、地域の活性化につながると考えます。また、外郭環状自動車道が大泉から延伸する計画があり、大泉や石神井では準備工事が始まったようです。外環道が開通した場合には、パーキング用地が北インター周辺にしかありません、道の駅とパーキングが一緒になればよりいいと思います。朝霞県土整備事務所では国道254号線と和光富士見バイパスの用地取得した残地があり、残地をまとめて「道の駅」にしたらとの考えもあると聞いています。和光北インター地域土地区画整理事業で、企業誘致するのと、道の駅に

した場合の税収は、企業誘致の方が最初は税収が上がると思いますが、道の駅にする事で、地域の産業が活性化し、市内業者が潤い、また、和光市に集客出来る施設、和光ブランドのアピール・推進が出来る施設、和光市から情報発信が出来る施設で、今後重要な施設になると考えます。また、**和光市全体に活力が生まれ、元気になり相乗効果も期待でき、北側地域の活性化にも繋がる**と考えます。今後も和光北インター地域土地区画整理事業地内、土地権利者の皆さんに協力を仰ぎ、「道の駅」建設に取り組んでいきたいと考えています。

質問内容等は、和光市議会ホームページ議会会議録検索システムを利用しご確認ください。

5月9日(水)に議会報告会を開催致します。

●中央公民館(2階会議室1) 18:30~20:30

3月定例会及び予算審議の結果や審議の状況を市民の皆さんに報告致します。皆さん、是非議会報告会にお越し下さい。

◇6月定例会の開催予定◇
6月7日(木) 本会議開会
6月21日(木) 本会議閉会

※例年ですと上記頃の開催ですが、1週間早まることもあります。

予定がわかり次第、ブログにてお知らせ致します。

尚、正式な日程については、和光市ホームページにてご確認ください。

c o m m u n i t y m e m b e r



和光市議会議員 吉田たけし

< 4つの柱 >

1. 新倉・下新倉地域へ小・中学校の早期建設を推進します。
2. 保育園の新設や病児保育、延長・夜間保育を推進し、保育者の就労を支援します。
3. 農業・農作物のブランド化を図り、地域の活性化を図ります。
4. 北側発展のため、都市計画道路、区間整理事業の早期完成を目指します。

市政に対するご意見・ご要望、またなにかの時には、なんでもご遠慮なくご相談下さい。皆さんと一緒に考えて行きます。

この会は、吉田たけしさんを中心に明るく、楽しく元気なまちづくりを目的に、会員相互の研修と親睦を行なっています。入会無料です。入会いただける方は右記にご記入の上、この面をFAXでお送りください。どうぞお気軽にご加入ください。



吉田たけし後援会 会長 柳下 茂

〒351-0111 埼玉県和光市下新倉4-15-1

TEL.048-424-3517 FAX.048-462-9369
http://www.takechan-yoshida.jp

お名前

ご住所

ご連絡先電話番号

携帯

メールアドレス